

■看護学コース

【知識・理解】

- ・看護の基盤となる幅広い教養を身につけている。
- ・看護に必要な基本的な知識を体系的に修得している。

〔専門分野に関する知識〕

1. 人間を全人的に捉え、医療・看護の観点から人の健康を総合的に理解し、個別の事例について説明することができる。
2. 看護の実践においてその科学的・社会的根拠を理解し、説明することができる。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 人を取り巻く環境と、健康との関連を説明することができる。
2. 保健医療福祉制度における看護の社会的役割・機能・連携について理解し、説明することができる。

【思考・判断】

- ・人々の健康や生活でおこる様々な問題を看護の視点で捉えることができる。
- ・看護の専門知識を用いて、問題解決に向けての解釈・判断ができる。

〔論理的思考力〕

1. 創造性を発揮し、科学的・社会的根拠に基づいた看護を思考できる。
2. 看護の対象となる人々の背景を分析することができる。

〔課題探求力〕

1. 主体的に課題を発見し、解決に向けた提案を行うことができる。
2. 社会の動向をふまえて看護の役割や課題を追究することができる。

【技能・表現】

- ・対象者や場に応じた基本的な看護実践能力を身につけ、使うことができる。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 必要な情報を収集、整理し、活用することができる。
2. 看護学を学ぶ上で必要となる基本的な英語を修得している。

〔表現力〕

1. 実施する看護の方法について看護の対象となる人々に合わせた説明ができる。
2. チームの中でメンバーの考えを受容しつつ、積極的に自身の考えを伝えることができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 看護の対象となる人々と相互関係を形成し、援助的なコミュニケーションを展開できる。
2. 看護の対象となる人々の多様な価値観を尊重し、思いやりをもって真摯に接することができる。

【関心・意欲・態度】

- ・ 人間・環境・健康・看護に関心を持ち、知的好奇心を高めることができる。
- ・ 医療・保健・教育の進歩に対応できるよう、自律して学び続ける姿勢を身につけている。
- ・ 個々の特性をつかみながら、チームを統合することができる。

〔協働実践力〕

1. チーム医療において多職種との協働・連携の重要性を理解し、看護師に求められる役割について説明することができる。
2. ヘルスケアチームメンバーとの協力関係を築き、健康上の諸課題への対応に参画し、看護ケアを実践することができる。

〔自律力〕

1. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる努力ができる。
2. 対象者やチームに対して、責任ある行動がとれる。

〔倫理観〕

1. 生命倫理・看護倫理・職業倫理について理解し、専門職として倫理綱領に基づいた行動がとれる。
2. 看護の対象となる人々の尊厳と権利を尊重した行動がとれる。

【統合・働きかけ】

- ・ 看護の目標を達成するために必要な資源を利用し、多職種と協働して活動することができる。
- ・ 看護の対象となる人の状況・背景に応じて、看護実践が展開できる。
- ・ 看護実践を通じて自己の看護観を形成することができる。

■ 公衆衛生看護学コース

【知識・理解】

- ・ 看護及び公衆衛生看護の基盤となる幅広い教養を身につけている。
- ・ 看護及び公衆衛生看護に必要な基本的な知識を体系的に修得している。

〔専門分野に関する知識〕

1. 人間を全人的に捉え、医療・看護及び公衆衛生看護の観点から人の健康を総合的に理解し、個別の事例について説明することができる。
2. 看護及び公衆衛生看護の実践においてその科学的・社会的根拠を理解し、説明することができる。

[人類の文化・社会・自然に関する知識]

1. 人を取り巻く環境と、健康との関連を説明することができる。
2. 保健医療福祉制度における看護及び公衆衛生看護の社会的役割・機能・連携について理解し、説明することができる。

【思考・判断】

- ・人々の健康や生活でおこる様々な問題を看護及び公衆衛生看護の視点で捉えることができる。
- ・看護及び公衆衛生看護の専門知識を用いて、問題解決に向けての解釈・判断ができる。

[論理的思考力]

1. 創造性を発揮し、科学的・社会的根拠に基づいた看護及び公衆衛生看護を思考できる。
2. 看護及び公衆衛生看護の対象となる人々の背景を分析することができる。

[課題探求力]

1. 主体的に課題を発見し、解決に向けた提案を行うことができる。
2. 社会の動向をふまえて看護及び公衆衛生看護の役割や課題を追究することができる。

【技能・表現】

- ・対象者や場に応じた基本的な看護実践能力を身につけ、使うことができる。

[語学・情報に関するリテラシー]

1. 必要な情報を収集、整理し、活用することができる。
2. 看護学及び公衆衛生看護学を学ぶ上で必要となる基本的な英語を修得している。

[表現力]

1. 実施する看護及び公衆衛生看護の方法について看護及び公衆衛生看護の対象となる人々に合わせた説明ができる。
2. チームの中でメンバーの考えを受容しつつ、積極的に自身の考えを伝えることができる。

[コミュニケーション力]

1. 看護及び公衆衛生看護の対象となる人々と相互関係を形成し、援助的なコミュニケーションを展開できる。
2. 看護及び公衆衛生看護の対象となる人々の多様な価値観を尊重し、思いやりをもって真摯に接することができる。

【関心・意欲・態度】

- ・人間・環境・健康・看護に関心を持ち、知的好奇心を高めることができる。
- ・医療・保健の進歩に対応できるよう、自律して学び続ける姿勢を身につけている。
- ・個々の特性をつかみながら、チームを統合することができる。

〔協働実践力〕

1. チーム医療において多職種との協働・連携の重要性を理解し、看護師及び保健師に求められる役割について説明することができる。
2. ヘルスケアチームメンバーとの協力関係を築き、健康上の諸課題への対応に参画し、看護ケア及び公衆衛生看護活動を実践することができる。

〔自律力〕

1. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる努力ができる。
2. 対象者やチームに対して、責任ある行動がとれる。

〔倫理観〕

1. 生命倫理・看護倫理・職業倫理について理解し、専門職として倫理綱領に基づいた行動がとれる。
2. 看護及び公衆衛生看護の対象となる人々の尊厳と権利を尊重した行動がとれる。

【統合・働きかけ】

- ・看護及び公衆衛生看護の目標を達成するために必要な資源を利用し、多職種と協働して活動することができる。
- ・看護及び公衆衛生看護の対象となる人の状況・背景に応じて、看護実践が展開できる。
- ・看護実践を通じて自己の看護観を形成することができる。